２００９．７．１　　No.３３０

協会だより

(社)秋田市建設業協会

目　　次

１．定例会議
　　三役・委員長会議

２．新委員会の構成

３．部会の活動
　　土木・建築合同研修会

４．平成２１年度２級建築施工監理技術検定試験　－ご案内－

５．熱中症による労災で１９名死亡（平成２０年）

１．定例会議

◎　三役・委員長会議　　６月１７日（水）

５月２５日開催の通常総会において、協会の活性化や会員の意見を幅広く伺うため正会員全員に委員会に所属していただくことに決定したので、現在各委員会に所属していない 19 名についての選任会議を開催いたしました。

２．新委員会の構成について

６月１７日の三役・委員長会議で次のように決定しました。
なお、会社代表者の委任を受け代理者として登録の方もいます。

(敬称略・委員は五十音順)

《運営委員会》

委員長	伊藤久一	（中央土建㈱）	
副委員長	石井典夫	（石井建設㈱）	石黒　望（豊興産㈱）
委員	伊藤四郎	（㈱伊太土木）	伊藤　満（伊藤工業㈱）
〃	大友平三	（大友建設㈱）	岡部　茂（㈱岡精組）
〃	加藤俊介	（加藤建設㈱）	鎌田　豊（㈲丸豊建設）
〃	小南　淳	（㈱小南工務店）	佐藤　弘（㈲佐弘工務店）

《企画委員会》

委員長	山岡緑三郎	（山岡工業㈱）	
副委員長	粟野俊則	（㈱粟野工務店）	浅利健一（㈱佐々木組）
委員	阿部幸雄	（㈱水原工務店）	石川忠則（㈱石川建設）
〃	岡部秋男	（㈱岡部建設工業）	工藤堅裕（工藤建設㈱）
〃	熊谷美記雄	（㈱美奨）	小林敬悦（㈲小林土木）
〃	佐藤善隆	（㈲佐善建設）	渋谷守寿（㈱シブヤ建設工業）
〃	田村典美	（㈱田村建設）	珍田伸一（珍田工業㈱）
〃	福岡　健	（秋田ボーリング㈱）	渡辺憲介（旭建設㈱）

《工務委員会》

委員長	三浦　稔	（㈱三勇建設）	
副委員長	足利公雄	（㈱足利工務店）	加賀屋賢二（㈱加賀屋組）
委員	伊藤徳雄	（㈲伊藤組）	伊藤弘義（㈱本郷建設工務所）
〃	加賀谷　亨	（加賀伊土建㈱）	工藤文彦（㈱工藤興業）
〃	佐藤重明	（藤重建設㈱）	鈴木建司（㈱鈴秀建設）
〃	鈴木雅樹	（㈱鈴鉦組）	瀬下和夫（瀬下建設工業㈱）
〃	高島慶美	（㈲高島興業）	千葉利則（㈱中山組）
〃	鶴田定昭	（㈲ツルタ）	堀　満雄（三菱マテリアル電子化成㈱）

《組織検討特別委員会》

委員長	加藤俊介（加藤建設㈱）		
副委員長	阿部幸雄（㈱水原工務店）	石川忠則（㈱石川建設）	
〃	長谷川尚造（㈱長谷駒組）		
委員	石黒力（㈱石黒組）	伊藤満（伊藤工業㈱）	
〃	加賀屋賢二（㈱加賀屋組）	加藤憲成（㈱英明工務店）	
〃	小南淳（㈱小南工務店）	斉藤一志（㈱雄和興業）	
〃	三浦稔（㈱三勇建設）	林明夫（㈱林工務店）	
〃	古戸武（大和施工建設㈱）	堀井登（㈲斎藤産業）	
〃	本郷真（秋田鋪道㈱）	渡辺憲介（旭建設㈱）	

《入札制度の検討等特別委員会》

委員長	阿部幸雄（㈱水原工務店）		
副委員長	三浦伸一郎（秋田推進土木㈱）	長谷川尚造（㈱長谷駒組）	
委員	石黒望（豊興産㈱）	伊藤和美（㈱堀川開発）	
〃	伊藤弘義（㈱本郷建設工務所）	岡部茂（㈱岡精組）	
〃	加藤俊介（加藤建設㈱）	工藤義武（㈲工藤堅組）	
〃	小林敬悦（㈲小林土木）	小南淳（㈱小南工務店）	
〃	千葉利則（㈱中山組）	松橋孝吉（㈲松橋建設）	
〃	三浦稔（㈱三勇建設）	見上重新（中田建設㈱）	
〃	武藤寿（㈲武藤建設）		

3．部会の活動

◎ 土木・建築合同研修会　　６月３０日（火）

協会において６０名が参加し秋田労働基準監督署安全衛生課長　後藤浩氏を講師に「労働安全衛生規則（足場等）の改正内容について」研修しました。

4．平成21年度２級建築施工監理技術検定試験　-ご案内-

２級建築施工管理技士試験

インターネット申込受付期間　　平成２１年６月１９日(金)～７月１７日(金)
書面申込受付期間　　平成２１年７月３日(金)～７月１７日(金)
試　験　日　　平成２１年１１月８日(日)
試　験　地　　全国主要都市
※問い合わせ先　　㈳東北建設協会秋田支所
TEL　018-823-3148
建設業振興基金ＨＰ　http://www.fcip-shiken.jp/

５．熱中症による労災で１９名死亡（平成２０年）

～熱中症を予防しましょう～

秋田労働基準監督署

秋田でも、最高気温が２５度を超える日が多くなり、今後最高気温が３０度を超える真夏日が増えるにつれ、熱中症の対策を考えなければならないシーズンが近づいてきました。

このほど、厚生労働省のまとめで、昨年１年間に作業中の熱中症で死亡した労働者が全国で１９名あり，業種別にみると建設業が１０名と圧倒的に多く被災している状況にあることが分かりました。

過去３年間の月別の死亡災害発生状況では、５月から９月にかけて発生していますが、例年７月と８月に集中しており、平成２０年においては７月に多発しています。

高温環境下に作業者が順化していないことなどから熱中症が発生しており、発生が集中する時期はもちろん、その前後の時期においても熱中症の予防対策が求められます。

建設業などの屋外型の現場における熱中症対策のポイントは、

① 作業環境管理（日よけ・散水・休憩所・飲料など）

② 作業管理（休憩・服装・保護具など）

③ 健康管理（睡眠・栄養・教育など）

で、それぞれの対策を効果的に行うことが重要です。

昨年死亡災害につながった原因として、

① 熱中症と疑われる症状が現れているにもかかわらず、関係者の認識不足等により、対応が不十分であったケース

② 作業者の行動及び健康状態を把握していないこと等から、熱中症の発症に気付くのが遅れ、発見されたときにはすでに症状が悪化しているケース

③ 適切な休憩設備が確保されていなかったケース

④ 水分を補給しているものの塩分を補給していないケース

などが少なからず認められております。

従って、死亡災害の防止のためには、何よりも熱中症に対する認識を深めて頂くとともに、熱中症と疑われる症状が認められた場合にはたとえ症状が軽いと思われる場合であっても直ちに医師に受診させることが重要です。また、水分補給の際には若干の糖分と併せ塩分を含んだ飲料等の補給を行うとともに、作業当日の各人の健康状態を十分に把握した上で作業を行わせることも重要であると考えられます。

熱中症とならないためにも、今のうちから十分な知識を持ちまた適切な予防対策が講じられるよう十分な備えが必要です。

熱中症予防のポイント

これからの季節、職場の気温・湿度はぐんぐん上がっていきます。暑い中での作業は”熱中症”の危険があります。

熱中症を正しく理解し、きちんと対策をとって、暑い時期を安全・健康に過ごしましょう。

また、屋外での一人作業では、発見が遅れ、手遅れになることがあります。自らを守るためにも作業を行う人それぞれが熱中症に関する十分な知識を持つことが必要です。

熱中症とは

熱中症とは、高温の環境下で体温調整や循環機能などの働きに障害が起こる病気です。

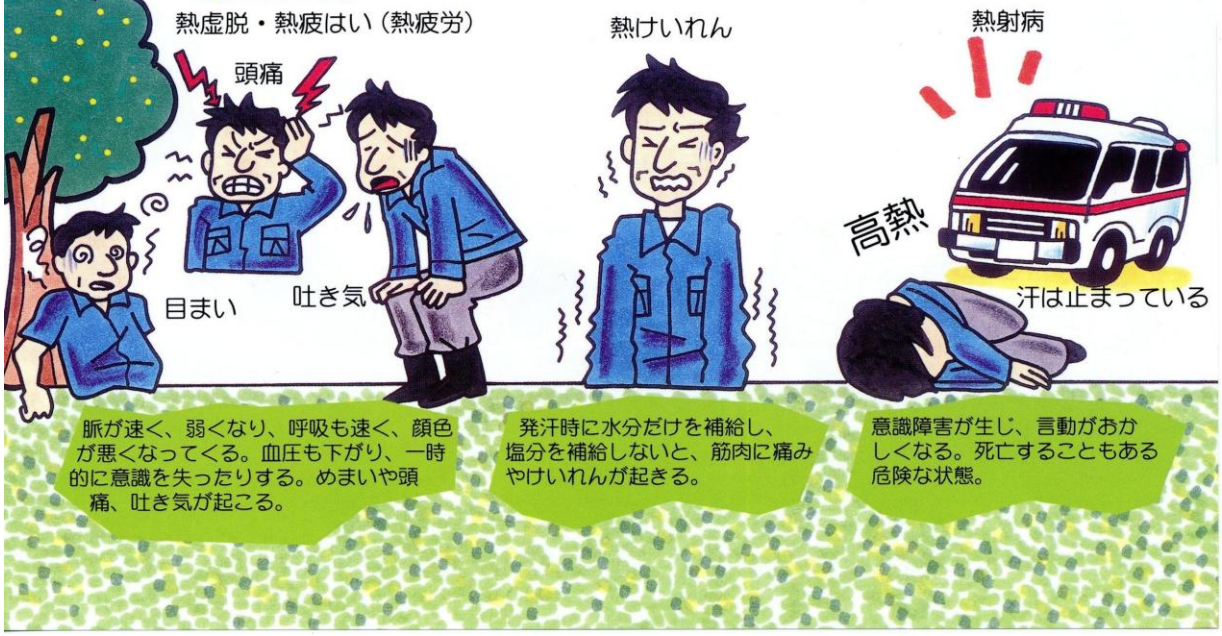
私たちの体は、汗をかくことで体温を一定に保っていますが、暑いときに汗で水分や塩分を過度に失うと熱中症となります。熱中症になると、ひどいときには意識を失ったり死亡するケースもあります。毎年夏季には、熱中症により死亡や意識障害を伴う重篤な労働災害が発生しており、平成２０年には全国で１９名が死亡しています。本年も熱中症の発生が懸念されるところです。

熱中症の症状

次のような症状を認めたら、すぐに管理・監督者に知らせましょう。

□呼吸が速くなる　□吐き気がする　□脈が速く、弱くなる　□頭痛がする　□唇がしびれる
□めまいがする　□反応が鈍る　□言動がおかしい　□筋肉に痛みとけいれんがある
□疲労感、虚脱感　□耳なりがする　□嘔吐や下痢がある

病状の例



予防方法

1　事前の準備を十分に

① 作業の前には作業者の体調を必ずチェック。
② その日の天気予報に注意し、暑さ（気温、湿度、風速など）を検討する。
③ 適切な作業計画を策定し、作業管理を行い、十分な休憩時間をとらせる。

2　水分＋塩分を取ろう！

汗をかいてからではなく、作業前から定期的に補給しましょう。水分だけでは、熱けいれんを起こすことがありますので、少量の塩分をとります。また、若干の糖分（3～6%）も含まれていると持久力が向上します。スポーツドリンク等で10～15℃に冷えたものがよいでしょう。

3　涼しい服装をしよう！

直射日光の下などでは、綿などの通気性や吸湿性の良い生地で、明るい色調の、首や手足が開放的なものがよいでしょう。体の表面からの放熱を促進します。直射日光のあたる屋外では、つばの広い帽子も役立ちます。

安全帽等を着用して作業する場合には、特に多めに休憩時間をとりましょう。

4　日常の健康管理を大切に

睡眠不足のとき、疲れているときなどは熱中症になりやすく、特に二日酔いや朝食抜きでの作業は厳禁です。夜更かしせず早起きして、涼しい時間に運動をおこなって、夏バテしない体をつくりましょう。

熱中症の手当の方法・救急処置

熱中症は、早期の措置が大切です。少しでも異状がみられたら直ちに涼しいところで安静にさせ、水やスポーツドリンク等を与えるなどの手当を行ってください。

回復しない場合及び症状が重い場合などは、医師の手当を受けてください。

また、反応が鈍い、意識がないなどの場合は、手当を行うとともに、ためらわずに救急車を呼びましょう。手当の遅れが生命に関わることがあります。

（参考）環境省熱中症予防情報サイト　http://www.nies.go.jp/health/HeatStroke/index.html